新宿区社会福祉協議会を通じて、株式会社日本財託グループから寄付金をいただき、施設内の共用部の壁紙が新調されました。以前は日焼けにより変色していたり、ほこり汚れが目立っていましたが、おかげさまで綺麗になりましたし、施設内が明るくなりました。なにより、壁紙が新しくなって、寮生が清々しい気持ちで過ごせています。

また、ただ単に壁紙の張替えをしたのではなく、防炎性の壁紙にしました。最近は異常気象により、雨が少なく乾燥しがちで火災に注意しなくてはなりません。また、地震の多いこの頃。新年には、早々に能登地方で地震がおこり、輪島市では大規模な火災も発生しました。いざという時に防炎性のものを使用していると退避しやすくなります。

また、壁紙の張替え終了後には、階段に新たに手すりを設置しました。最近は、高齢や障害のある寮生を迎えることが多くなりました。階段の両サイドに手すりがあると上り下りで助かります。

なかなか追いつかない点もありますが、これからも更生を目指す寮生が安全、安心に過ごせる施設づくりの工夫をしてゆきたいと考えています。